

# 令和2年度事業報告

## 1 コロナ禍の支部活動

新型コロナウイルスに襲われた令和2年度は、人の集まりが制約され、大分支部の活動も大幅な自粛を余儀なくされた。

支部総会	本部の評議員会と同時開催を予定していたが、評議員会が書面審査に変わったため、大分支部総会も懇親会を開かず簡素化して実施。
職域交流会	職域企業、職域支部で現役で働く会員が集まる交流会は、職員が外部で会食することを禁止する企業も多く、中止。
学生と先輩との交流会	大分大学が対面授業を避ける中での実施は難しく、中止。
ゴルフ大会	4月に予定していた春の大会は直前になって中止、秋の大会は実施。
登山会	春は中止、秋は実施。
囲碁大会	室内での長時間対陣を避け、中止。
麻雀大会	〃
幹事反省会	各親睦会の幹事が情報交換する会で、中止。

## 2 大分支部理事会・総会

理事会 令和2年6月1日 決算・予算等を審議  
支部総会の対応等を協議

総会 令和2年7月4日  
2019年度事業報告・同決算を承認。  
令和2年度の事業計画・同予算を承認。  
簡素に少人数で開催。  
来賓を招待せず、懇親会は中止。  
傘寿のお祝いや新人紹介等の恒例行事もできなかった。



## 3 各種交流会開催

- ・「職域交流会」  
職域企業と職域支部の会員を中心に、現役世代が顔を合わせる職域交流会は若手会員が知り合う大分支部として大事な事業であるが、開催することが出来なかった。
- ・「学生と先輩との交流会」  
就職活動を控えて不安な学生に若い先輩がアドバイスする学生と先輩との交流会は、学生と卒業生の双方に評価される大分支部の大事な事業である。  
しかしながら、大学が対面授業を止めてオンライン講義を進める中では、多数が一堂に会する事業を実施することはできなかった。

## 4 各種親睦会

予定した親睦会のうち、囲碁大会と麻雀大会は開催することができなかった。

- ① ゴルフ大会(10月20日)東急GC 26名  
令和元年10月11日の第48回大会で土森武志さん(大14)がホールインワンを達成されたのを受け、4月14日に記念大会を計画した。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止。そこで、秋の大会を記念大会とすることにし、10月20日に第49回大会を東急GCで開催。優勝は高井道晴さん(大21)、準優勝は相良浩さん(大12)。  
三密を避けるため、終了後のパーティーは開かず、表彰式も簡略に行った。

- ② 登山会(11月8日) ふきくさ山 9名参加  
例年5月に開催する春の登山会は中止となった。  
秋の登山会は、当初予定した11月7日が悪天候のため翌8日に変更。当日は晴天に恵まれ、くじゅう連山のふきくさ山に登った。



③ 歩こう会(11月23日) 府内歴史散歩 21名参加  
ボランティアガイドの案内で大分市元町の南蛮VUNGO  
交流館を見学後、遊歩公園を経て城址公園まで歩いた。



④ 歩こう会(3月27日) 別府の桜を歩く 35名参加  
別府駅集合で、境川から南立石公園を経て別府公園まで  
の6.5kmを歩いた。

⑤ 芸術文化祭「自遊展」

- 平成30年度以来、100周年記念イベントに位置づけ
- ・芸術文化作品展示会(10月26日～11月1日) アートプラザ  
出品者40名、作品数89、来場者495名
  - ・大分の歌音楽祭(10月22日)  
2回目の今回は屋外の「お部屋ラボ祝祭の広場」で開催。  
経済学部社会イノベーション学科渡邊ゼミの学生による  
企画・運営。  
来場者数242名



## 5 100周年記念募金の推進

支部役員が各種交流会や世代会の機会を利用し、また職域企業を訪問して募金を働きかけ。  
大分支部募金推進委員会のメンバーが中心に、回期別に未募金者に依頼。  
大分支部の募金目標額2,230万円に対して、年度末の募金実績 1,146万円、目標達成率51.4%

## 6 四極大分の発行

10月、「四極大分」No27を発行  
巻頭文は大堀敬直さん(大10)。政治だよりでは内閣府  
特命担当大臣の衛藤晟一さん(大18)、大分県議会議長の  
麻生栄作さん(大32)、大分県議会議員の木田昇さん、  
(大38)、全国市議会議長会会長の野尻哲雄さん(大24)と  
大分支部が誇る大物政治家がそろい踏みした。  
ページ数:24 部数: 2,000部  
配布先: 支部会員、職域支部会員、全国各支部



## 7 会員拡大のための活動

100周年募金者に呼びかけるなどして新たに23名の個人会員が加わった。

## 8 個人会員との繋がり

大分支部個人会員との繋がりを大事にするべく、誕生カードを贈った。